



富士学院 学院長
坂本 友寛

2023年問題で 医学部入試が 変わる!?

医学部合格の為に 必要な学習環境とは

取材：平野 晃康

私共富士学院は、今年2月で創立20周年の節目を迎え、現在校舎は名古屋校・岡山校・福岡校・鹿児島校と4校舎をすべて直営校として運営し、新たに来年春には東京校を開校する予定です。

今、日本の医学教育は2023年問題で大きな転換期を迎えており、この問題は医学部受験業界にとっても今後大きな影響が考えられます。そういう中で今日は医学部に合格する為の学習環境についてお話を

医学部受験に向かう上で 必ず知っておくべき2つの点

1つめは、医学部合格は、学校の成績が良いからといって、また模試の偏差値が高いからといって、それがそのまま合格には直結しないという事です。これは合格者・不合格者の偏差値分布を見れば一目瞭然ですが、偏差値が70を超える高偏差値の受験生が相当数不合格になっている中、逆に偏差値が60を切る受験生が合格を果たすなど、毎年多くの逆転現象が起っています。この結果には3つの要因が考えられ、ひとつは医学部入試には小論文・面接試験がある事、そして2つめは医学部独特の考えさせるつまり「思考力」を問う問題が多く出題される事、3つめは、その上で大学毎に出題傾向が違い、また合否判断の基準も各大学で違う事などが挙げられます。つまり、医学部入試は他学部とは違い、ただ単に頭の良さを競う入試ではなく、医師になる為の入試であり、それぞれの大学が医師になる人を選抜する

為の試験であるという事です。そして2つめは、極端な言い方ですが、医学部に合格したからといって医師になれるとは限らないという事です。大学側はあまり公表していませんが、入学後に留年や放校(退学)処分になる学生が相当数存在する事や、医師国家試験の浪人生の数をみると、そう言わざるを得ない現実があります。しかも今後2023年問題で教育カリキュラムが大きく変わる中、この事は更に現実味を帯びてきます。

2023年問題で 医学部受験はどう変わるか

これから日本の医学教育は、大きな転換を迎えます。それは世界医学教育連盟(WFME)が提唱する国際基準(グローバルスタンダード)に準じた教育カリキュラムに2023年度卒業生から適用される事が決定した為です。もうすでにいくつかの大学では今年度から新カリキュラムに変更しており、少なくとも2017年度入学者からは全ての医学部医科大学で実施される予定となっています。教育カリキュラムがどう変わるのかというと、国際基準では医学

部を卒業した段階で、ある一定の臨床能力が必要だとされており、現在の概ね1年間の臨床実習から今は2年間の実習へと変わり、また「見学型」が中心であった実習から「参加型」の範囲が広がる実習へと変わっていきます。

これにより、今まで4年間で学んでいた基礎医学や臨床医学などの学習時間が短くなり、この事は医学の進歩により年々学習する量が増え、質も高くなっている中、医大生にとつては参加型実習と合わせ、新たな試験となり、これまで以上に医師となる志や覚悟、そしてそれらに基づく自覚や自立が求められてきます。この教育カリキュラムの大幅な変更は、当然医師国家試験に大きく影響し、その事は医師国家試験に合格出来る人材を求める各医学部・医科大学の入試にも大きな影響を及ぼしてくると考えられます。具体的には、思考力を問う問題が更に増え、面接が更に重視される傾向になってくるでしょう。少なくとも、他学部では合格はひとつのゴールとなりますが、医学部入試においては、合格はゴールではなく、医師になる為のあ

医学部合格に必要な 学習環境と私どもの取り組み

くまでもスタートです。これから更に医師への道が厳しくなっていく中、医学部を目指す生徒を預かる私ども予備校は、医学部に合格させればよいと言う考えではなく、合格後に続く医学部6年間を見据え、その6年間をしつかりと頑張っている下地をつくっていく指導が、今後は特に求められてくると思います。それらを踏まえ、医学部合格に必要な学習環境についてお話をしたいと思います。

まず大前提となるのが、今の学習環境が医学部を目指す上において自分に一番合った、また必要な学習環境がどうかです。そして2つめは、その学習環境は医学部を目指す為に必要な「自覚」と「自立」そして思考力を鍛える環境かどうか、そして3つめは、医学部入試の最新情報を含め、蓄積されたデータや合格の為の様々なノウハウがあり、その情報やノウハウを二人ひとりの生徒にしつかりと活かせる環境が整っているかどうかです。いくら情報があってもそれを活かさなければ何の意味もあ

りません。その為には、講師・職員間や講師間での情報の共有や目的の共有が必要となります。私共富士学院では、生徒を中心としたそれぞれ指導する講師や担当職員が情報を共有し、連携を取りながらチームとしてしつかりと機能しており、生徒の自覚や自立を促しながら、生徒毎の受験戦略を構築し、日々指導を行っています。この事により、一人ひとりの生徒が、今、何をやるべきか、やる意味も含めてまっすぐ受験に向かう空気が自然と出来、それが全体の学習環境をつくる要因にもなっています。

医学部受験は要領やテクニックでこなしていくものではありません。大事な事は、その生徒の本質の部分をしつかりと見て、その部分にどう私達が関わり、どう導いて行けるのか、が大事だと思っています。生徒は全て今後の医療業界を担っていく大切な宝物であり、大事な光る原石です。その原石が今後どう磨かれるのか、輝いていくのかは、全て私達にかかっており、私達は、その自覚と責任を常に持ちながら、全力で一人ひとりの生徒の目標や夢の実現を応援しています。

医学部受験 富士学院

名古屋：☎0120-9816-33
岡山：☎0120-9179-00
福岡：☎0120-5251-22
鹿児島：☎0120-66-9179

医学部合格の為の情報誌
“あしたのひと”創刊号を
お送りします。▶

左記TELもしくはホームページからご請求下さい。(無料)



2016年 春 東京校開設(予定)